

皆様の職場で研修設計を実践して学ぶ



出張研修設計ワークショップのご案内

皆様はどのように研修テーマや内容を決めていますか。

「今までやっていたから」「研修会社に提案されたから」「最近の流行だから」

様々な方法で研修を考え、実施されていることと思います。

では、その研修は有効なものになっているのでしょうか。その研修で組織は変わったのでしょうか。

私たちは「研修設計」が研修の効果を定める一番のポイントだと考えています。

そして、研修会社に研修の設計をすべて任せるのではなく、人事担当者が研修設計の手法を学び技術を身につけることが、効果的な研修をするためには必要不可欠です。

しかし、その知識や技術を学ぶ機会はほとんどありません。

また、この知識や技術を学ぶには実際に自分たちの組織における研修設計を考えることが一番有効です。そこで、皆様の会社や団体に直接お伺いし、研修設計の知識と技術を学びながら研修内容をワークショップ形式で作成する「出張研修設計ワークショップ」をご提案させていただきます。

研修を実際に設計するのは皆様です。当協会は設計方法の解説しながら、ファシリテーションを行ないます。ぜひ、この機会に研修設計のプロセスを学び、技術を身につけてみませんか。

ワークショップ内容：

- 1、皆様の会社・団体にお伺いし、研修設計の解説を行ないます。
- 2、実際に研修設計のファシリテーション（進行）を行ないます。
- 3、設計プロセスを振り返り、ポイントの解説を行ないます。

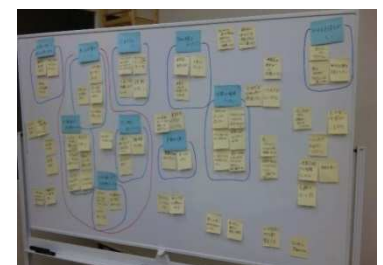


時間数：1テーマ標準4時間（時間の延長も可能です）

費用：48,000円／4時間（税・交通費別途）

参加人数：10名まで

その他：会場（会議室など）の手配をお願いします。



お問合せ・お申込み：ホームページまたはEメールよりお願いします。

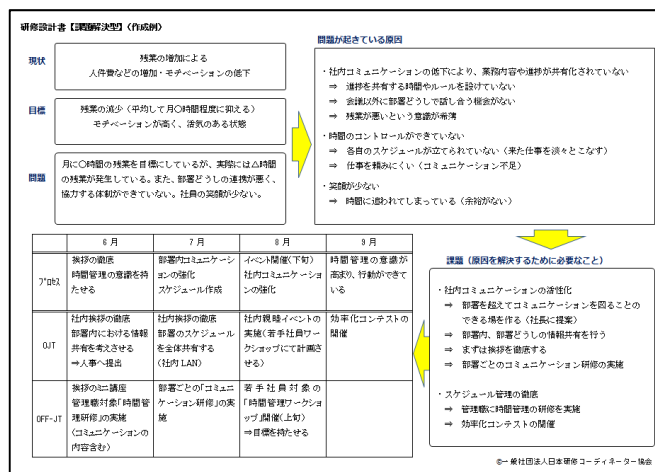
ホームページ <http://www.jtca.jp/>

Eメール info@jtca.jp



研修設計ワークショップの流れ（例）：

- 13:00 アイスブレイク
- 13:15 研修設計のポイント（レクチャー）
- 13:45 組織の目標設定（課題設定型の場合）
- 14:00 目標を達成するための課題を設定する
- 15:00 課題から人材育成のプロセスを整理する
- 15:30 研修プログラムを設計する
- 16:30 研修プロセスの振り返りと解説
- 17:00 終了



※ この流れは一例であり、組織の大きさや設計アプローチの方法によって内容や時間数が変わります。

ファシリテーター：

一般社団法人日本研修コーディネーター協会 代表理事 飯島宗裕

大学卒業後、中小企業基盤整備機構に入団。人材育成部門にて中小企業の経営者や後継者向けの研修企画・運営を行う。その後飲食コンサルティング会社に転職し、居酒屋の業務改善を経験後、コンサルタント教育責任者として多くの研修を行った。現在は独立し、研修設計のノウハウを広めている。今までの研修設計数 2000 件以上。



ごあいさつ

私自身もかつては行政機関や民間企業において研修の企画や運営を仕事としていました。しかし、当初はそのために必要な知識や技術を持っておらず、あるのは前任者が作成した前のカリキュラムのみ。結果的に研修会社や研修講師の言いなりになってしまいました。もちろん、中にはしっかりと提案された方もいましたが、多くは売りたい研修を販売しているだけであり、効果については二の次。効果的な研修や人材育成ができたかと言えば、満足できない状況が続いたのです。

この状況を打開すべく、研修設計を学びあう勉強会を開催しました。それが当法人のスタートです。今までに 50 回以上の勉強会を開催し、ノウハウが蓄積されました。現在でも勉強会を開催していますが、この考え方をより多くの組織に広め、実践してもらいたい。そのような思いから生まれたのが今回の「出張研修設計ワークショップ」です。

私たちは少しでも多くの企業や組織が効果的な研修を行ない、質の高い人材育成ができるようになることで日本を元気にしていくことを目的としています。ぜひこのワークショップの実施をご検討ください。

一般社団法人日本研修コーディネーター協会 代表理事 飯島宗裕

一般社団法人日本研修コーディネーター協会 (Japan Training Coordinator Association)

<http://www.jtca.jp/>